

カトリック吉祥寺教会



教会報

2024 年

11 月号



ともに支えあい もう一歩ずつ前へ



吉祥寺教会 75 周年記念ミサを終えて

吉祥寺教会 75 周年記念ミサを盛会のうちに終えることができました。ご多忙のところお越しくございましたご来賓の皆様、信徒の皆様にご心より感謝申し上げます。

10 月 19 日 17 時、20 日 9 時および 10 時半の計 3 回の記念ミサでは、皆様と共に教会の歴史における大きな節目を祝うことができました。10 時半のミサでは、はじめに 75 周年記念の聖霊モニュメントを東京大司教区アンドレア・レンボ補佐司教様に祝福していただき祭壇に設置しました。その後アンドレア補佐司教様の司式のもと、ミサが厳かに開祭されました。朗読に続き堅信式が執り行われ、22 名が堅信の秘跡を受けました。共同祈願は、ベトナム語、タガログ語、英語、日本語により行われました。聖体拝領では、駐日ローマ法王庁大使フランシスコ・エスカランテ・モリーナ大司教様より初聖体を受ける 3 名の子どもたち、受堅者に続いて信徒の皆様にご聖体が授けられました。その後、モリーナ大使からの祝辞では「一つの信仰、一つの家族 - 私たちは言語、人種、国籍、伝統などで大きく異なるが一つにならなければならない」という世界全体の目標において、吉祥寺教会が日本人信者だけでなく、フィリピン、ベトナム、その他さまざまな国からの信者とともに歩んでいることを讃していただきました。



続いて、サンティアゴ・エドガルド・ジュニア（ディンド）神言修道会日本管区長がローマ教皇のメッセージを読み上げられました。主任司祭よりオルガンのご寄付をいただいた●●●●様、聖霊モニュメントの制作をしてくださった Sr. 佐藤ヒロ子、マリア像のアーチの制作をしてくださった●●●●様の紹介と記念品贈呈、教会より受堅者と初聖体の子どもたちへ記念品贈呈、初聖体の子どもたちと受堅者よりお礼の言葉と誓い、大使、補佐司教様へのプレゼント贈呈が行われました。最後に、アンドレア補佐司教様から「聖霊が私たちの人生を豊かにすること、それを人々に伝えることは私たちの使命です」とお話いただき、「皆様の力で菊地新枢機卿様と私を支えてください」とのお言葉をいただきました。

記念ミサ終了後、清々しい秋空のもと聖堂前庭で、南山学園聖園女学院附属聖園マリア幼稚園園長濱口末明神父様のお祈りがあり、続くディンド管区長のご挨拶では、「あ」はありがとう、「い」はいのり、「さ」は支え合う共同体、「つ」は伝えあう共同体というあいさつの大切な意味をお話いただき茶話会が始まりました。ベトナムグループの優しさ溢れる踊り、フィリピングループのエネルギッシュなパフォーマンスがあり、参加したみなさんと共に心温まる交流のひとつとなりました。そして、75年に感謝するとともにより良い共同体となることを呼びかけながら、フォン神父様による祝福とお祈りで閉会となりました。

多くの方々に支えられ、このような時間を共有できたことを大変ありがたく思います。今日のこの大切な日を無事に迎えることができましたのは、吉祥寺教会を 75 年の長きにわたりお支えくださいました歴代の主任司祭をはじめ、司祭、修道者、信徒の皆様のお力によるものです。あらためて、感謝申し上げます。

主任司祭 ビジュ キシャケール



カトリック吉祥寺教会創立 75 周年のお祝いにあたり

サンティアゴ・エドガルド・ジュニア 神言修道会日本管区長



カトリック吉祥寺教会創立 75 周年に当たり、教会全体の信徒の皆さんと共にお祝いすることが出来たことを大変嬉しく思いました。一千年も一日のような永遠の神さまにとって 75 年というのは短いかもしれませんが、人間のわたしたちにとっては長い道のりで今日のような吉祥寺教会はみ言葉に根差しながら歴代の主任司祭、助任司祭、信徒とともに信仰共同体の力で培われてきたものだ

と言えるでしょう。この度、記念すべき 75 周年を迎えられることに対してまず何よりも神さま、また大先輩の方々に感謝しましょう。

当然ながら時間の流れの中で、教会の姿も共同体の構成も徐々に変化していくことは見えてきます。中で昔からの懐かしく深い思い出がたくさん胸の中で残されると思いますが、時代の移り変わりのことを快く受け入れると同時に不変な神様ご自身に対する信仰や約束された御言葉に信頼し続け、これからも、主の栄光のために、皆で力を出し合って教会の使命を果たし続けることが出来るようお恵みを願い求めましょう。

75 周年ミサを終えて

トゥ・ダン・フック 神父

75 周年を共に祝い、ごミサと茶話会をご一緒にさせていただいたことを心より感謝申し上げます。今、私は、吉祥寺教会で過ごした 6 年間を懐かしく思い出して嬉しい気持ちでいっぱいです。神様のみもとに先に召された方々、そして、今まで吉祥寺教会を支えてくださった多くの司祭、修道者、信徒も信徒でない方も含めて、皆様に感謝し、これからも共に歩み、赦し合い、全身全霊を尽くして奉仕する教会でありますようにお祈りします。



75 周年記念ミサの感想

荒田 啓示 神父

前日の暑さと打って変わり、秋本番と言えるような気候となった 75 周年記念ミサ当日でした。世界宣教の日にあふさわしい国際ミサが盛大に行われ、これまでの長年の歩みを感じながらも、また新しい吉祥寺教会を作っていく一歩が見えたような気がしました。この日のために準備をくださった司祭団と吉祥寺教会信徒の皆様には感謝するとともに、今後の新たな吉祥寺教会の歩みの上に神様の豊かな恵みと祝福があるように、お祈りいたします。



75th Anniversary of Catholic Kichijoji Church, Tokyo, on October 20, 2024.

ボスコ・マニマラ 神父



We, the community of Catholic Kichijoji Church, thank God for the grace of his protection for the last 75 years. This Church is dedicated to God the Holy Spirit. The words of Jesus from today's gospel reading (Mark 10. 43,44,45) are highly inspirational and say what we should do to be authentic members of the Church community. In the gospel Jesus says, 'whoever desires to become great among you shall be your servant.... whoever desires to be first shall be slave of all. For even the Son of Man did not come to be served, but to serve and to give his life as a ransom for many'. Learning from Jesus, let us reflect as follows, as to what Jesus expects us to be authentic members of this community.

Life of Jesus is his message. Jesus died on the Cross to save us and to teach us that true greatness consists in humility. So let us pray for the grace of humility and loving service to each other. May Jesus, our role-model, continue to inspire us to humbly love and serve one another so that we may become TRULY GREAT in the eyes of God. On the occasion of this anniversary, let us continue to count on God's grace.

TẠ ƠN và HY VỌNG

トラン・ナム・フォン 神父

Giáo hội Công giáo Nhật bản đang đối diện với thử thách già hoá trong bối cảnh chung của xã hội. Số lượng tín hữu ngày càng ít, ơn gọi hiếm hoi.

Tuy nhiên, trong ngày lễ kỷ niệm 75 năm thành lập Giáo xứ Ki-chi-jo-ji, chúng ta cùng chúc tụng, tạ ơn Thiên Chúa vì vẫn giữ gìn Giáo xứ với những sinh hoạt đức tin sống động. Trong ngày đại lễ, có sự hiện diện đông đảo các thành phần dân Chúa, một Giáo hội thu nhỏ phong phú và năng động. Hơn nữa, trong Thánh lễ, chúng ta cũng được chứng kiến các nghi thức Rước lễ lần đầu, Thêm sức và kèm theo những sinh hoạt giao lưu huynh đệ ấm áp. Sự phong phú của Giáo xứ còn được thể hiện qua sự hiện diện đông đảo các tín hữu đến từ các quốc gia khác. Đây là điểm sáng và hy vọng của Giáo xứ cho bước đường kế tiếp. Tin tưởng và phó thác vào sự hướng dẫn của Chúa Thánh Thần, Đấng Bảo trợ Giáo xứ, giúp Giáo xứ trở thành dấu chỉ hiệp nhất yêu thương để lôi kéo nhiều người về với Thiên Chúa.



75 周年記念ミサを終えて

森 智宏 神父



皆さま、小教区認可 75 周年記念おめでとうございます。アンドレア補佐司教司式のもとミサが挙行され、無事に終わりましたことを皆さんに感謝したいと思います。特に私は日曜学校の子どもたちと共に初聖体の勉強を通して、今日の準備に関わりましたが、75 周年の節目を迎えるにあたって、わたしたちの信仰を新たに作る良い機会となりましたし、子どもたちとっても良い刺激になったように感じます。子どもたちにご聖体を拝領してくださったモリーナ大司教を始め、アンドレア補佐司教、またこれまでに関わってくださった多くの方々にこの場を借りて改めてお礼申し上げます。

75 周年記念ミサを終えて

教会委員長 ●●●●●

吉祥寺教会 75 周年おめでとうございます。

75 周年をお祝いする 19 日土曜と 20 日日曜合計 3 回のミサには、600 人を超える信徒が参列されました。10 時半のミサは、アンドレア・レンボ補佐司教と駐日バチカン大使館ローマ法王庁大使の共同司式で執り行われ、ミサのなかで堅信と初聖体の式も行われました。多くの来賓もお迎えし、多言語でのお祝いの言葉やお祈り、聖歌で、晴れやかな記念ミサになりました。典礼にもいつにも増して多くの方がご奉仕くださいました。

聖堂を飾ったのは折り紙の鳩でした。信徒の皆様をお願いしたところ、多くの方の手で 700 羽もの鳩を折ってくださり、聖堂に清楚に舞いました。また、75 周年の記念冊子や聖堂入り口に展示した記念パネル展にも多くの方が写真を提供してくださり、皆で少しずつ力を集めて心を寄せて当日を迎えられたのが、何より有難いことだと感謝しております。

ミサ後の茶話会も御来賓や司祭団の皆様も参加され、新型コロナウイルス感染拡大期以降、久しぶりの皆ですごく楽しい時間になりました。フィリピンとベトナムのグループが踊りも披露してくださり、ささやかな会ではありましたが、今の吉祥寺教会らしいお祝いができたかと思います。野外での大規模な茶話会は初めての試みで至らぬところも多々あったかと存じますが、皆様のご指導ご協力に心から感謝いたします。

次の 100 年、来るべき聖堂建て直しに向け、また明日から、世代や国籍を超え、互いに支え合いまた一歩ずつみんなで歩いていきましょう。この 75 周年の記念ミサと茶話会のために、長い時間をかけご準備くださった司祭団にあらためて感謝し、ご挨拶とさせていただきます。

75 周年記念誌の作成に関わる事ができました

75 周年記念事業 実行委員 ●●●●●



吉祥寺教会が小教区認可を受けてから今年で 75 周年を迎えるにあたり、教会委員会において、小教区 75 周年記念事業の一環として記念冊子を作成する事が決まりました。信徒のみなさまからお手伝いを頂く実行委員を募った結果、●●●●様、●●●●様、●●●●様、●●●●様、●●●●様からお申し出を頂き、神父様方、教会委員数名を合わせたチームで、4 月から準備を進めてまいりました。

コロナ禍、少子高齢化進行などにより共同体の在り方が変化する中、コロナ禍への対応を振り返るとともに、未来に向けた若者の声を載せ、100 周年につなぐ記念誌を目指しました。作成においては、写真収集や、教会の歩みを記した年表情報の確認など、細かい作業が継続しましたが、多くの方々から厚いご支援を頂き完成に至りました事を、この場を借りて御礼を申し上げます。今回の機会を得て、吉祥寺教会を深く知るお恵みにも授かりました。神さまのお導きにより吉祥寺教会が私たち皆の心の拠り所であり続けますように。

吉祥寺教会の アルバム

75周年記念ミサ
2024. 10. 19. 17時



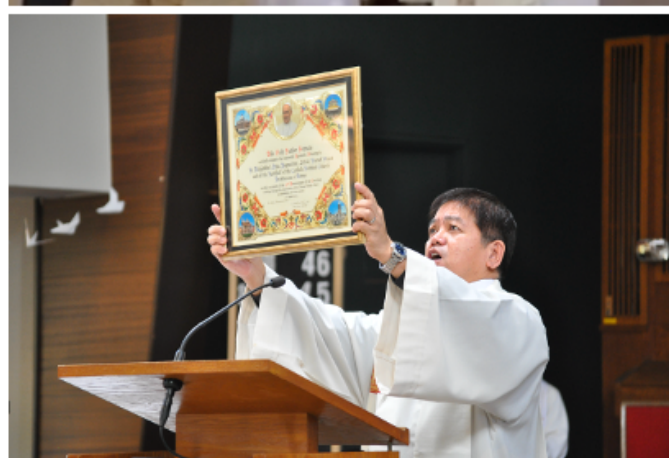
75周年記念ミサ

2024. 10. 20. 9時



75周年記念ミサ 堅信式・初聖体式 2024. 10. 20. 10時30分







茶話会



吉祥寺教会の今までとこれから

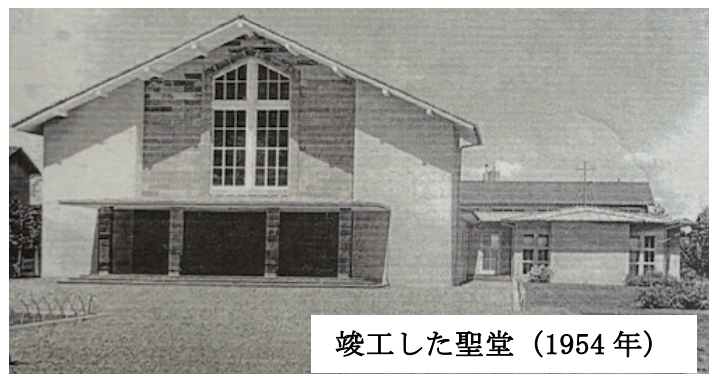
主任司祭 ビジュ キシャケール

吉祥寺教会が 1959 年 12 月に発行した当教会の歴史が記載されている「10 年の歩み」と 2000 年 2 月の「せいれい—50 周年記念誌」の記事に基づいて書きます。

吉祥寺教会の始まりを振り返ると、1935 年にゲマインダ神父とグドルフ神父の 2 名が西荻窪に民家を借り、東京における宣教活動を開始しました。そして、翌年に拠点を武蔵野（町）に移し、神言会の修道院、研究所として、アルベルト・ホームを仮設しました。そこではフラッテン神父の他に、ナーベルフェルト神父、ライツ神父、グロート神父、ファン・シュトラレン神父、ボルト神父、ガブリエル神父が、神道、仏教、考古学等の研究とともに、布教に当たっていたそうです。そして、1942 年に高円寺教会の分教会となってフラッテン神父が司牧担当に任命されたのでした。1943 年 8 月に初めての結婚式、9 月に初めての洗礼式、そして、10 月には初めての堅信式が行われました。



1950 年代半ばの教会敷地の航空写真



竣工した聖堂（1954 年）

教会が 1948 年に現在の教会の土地（御殿山 1-7-8、1941 坪、坪あたり 1100 円）を購入し、翌年に司祭館並びに信徒会館を建てました。そして、1954 年 4 月に現在の聖堂がナーベルフェルト神父のもとで完成されました。

その後、吉祥寺は中央線沿線の人気の町のひとつとして人口が増え、信徒数は 1958 年には 2054 名、1959 年には 2549 名、1961 年には 2739 名、1968 年には 3256 名、1971 年には 3639 名と急増していきました。吉祥寺の立地条件を有利なものと判断した安田神父が 1969～71 年にかけて教会敷地内に 11 階建ての大型マンション「吉祥寺ハイム」を完成させました。1 階から 3 階までは教会の占有部分で、1 階には信徒会館大ホール、大型厨房、中ホール、受付・主任司祭事務室などが設けられ、2 階はホール、和室、談話室、修道院の客室が設けられ、3 階にも集会室、図書室、助任司祭事務室、司祭館などが設けられました。

第二次世界大戦中の 1945 年 4 月に外国人の東京での在住が制限され、一時的に他の場所へ強制移動されましたが、8 月の終戦後には全員が帰院しました。高円寺教会の分教会として武蔵野周辺の信徒が徐々に集まり、1947 年には 550 名が信徒として登録されました。信徒数が増えたため、アルベルト・ホームではミサの際に信徒が入りきれなくなり、神言修道



堅信式（1970 年）
濱尾補佐司教様 安田神父様を囲んで

充実した建物ではありますが、4階から11階までは一般の方々が購入して所有する借地権付きのマンションであり、教会とは別のエリアとなっています。しかし、土地は修道会の所有ですので、各戸からわずかな借地代を収益事業としていただいています。マンション建築から53年経った現在の問題は、建物・設備の老朽化と維持管理費用の増加をはじめ、安田神父とともにこのマンションを計画・販売し、50年間の借地契約が満了を迎える2019年に住人との借地契約問題に対処する役割を担っていた会社が2012年に撤退してしまい、その後任を託した会社からも2019年2月に一方的に契約を解除されてしまったため、吉祥寺ハイムに関する諸問題の解決や建て替えに関して先が見えない状況にあることです。

一方、教会共同体が抱える課題としては、今まで一生懸命に教会のために奉仕してくださっていた方々やさまざまな活動を担ってこられた多くの方々がご高齢となられ、若い世代は少子化で絶対数も少ないため、教会の諸活動に参加される方々が少なくなり、昔と同じような形や規模で教会活動を行なっていくことが難しくなっていること、献金収入の減少に加え信徒の数に対して大きすぎる建物の維持管理などが大きな負担になっていることだと考えております。75周年を迎えたこの機会に一度立ち止まり、このような問題に対する対処方法を探り、次世代の信仰共同体へのバトンタッチに備えなければなりません。



堅信式（2022年）
菊地大司教様 司祭団を囲んで

吉祥寺教会（2024年）



日曜学校入学式 5.5.



洗礼式 9.8.

お知らせ

菊地功大司教様が枢機卿に任命されました

教皇フランシスコは、10 月 6 日正午、バチカン・サンピエトロ広場に集まった巡礼者や訪問者に向けての「お告げの祈り」を祈る際、12 月 8 日の枢機卿会議において、21 人の枢機卿を親任することを発表しました。日本からは菊地功大司教が選ばれました（カトリック中央協議会 HP）。



75 周年記念誌のお渡し方法

75 周年記念誌は、各世帯に 1 冊お渡ししております。まだお持ちでない方は、主日ミサにお越しの際、聖堂ミサ案内受付でお受け取りください。病者訪問をご依頼の方には、司祭団がお持ちいたします。

パネル展開催中

修道会と教会の歴史を振り返るパネル展を聖堂入り口で開催しております。お誘い合わせの上、是非、ご覧ください。



第 3 回地区集会が始まりました：信徒会館大ホール 11:30～12:30

第 3 回の地区集会が 10 月 27 日の練馬、武蔵野東地区から始まりました。他の地区につきましては、順次、以下の日程で開催いたします。お祈り、シノドス的な分かち合いについて、それぞれの地区ごとの交流タイムを設けています。

みなさまのご参加をお待ち申し上げます。

10 月 27 日	練馬、武蔵野東（終了）	
11 月 3 日	西東京、武蔵野西	11 月 10 日 三鷹西、小金井
11 月 17 日	三鷹東、世田谷	11 月 24 日 杉並南、杉並北



ボスコ神父様が戻られました

ボスコ神父様が休暇から戻られました。ボスコ神父様が講師の「英語で聖書を読み黙想する会」が 11 月 3 日から再開します（毎月第 1 日曜日 14:00～14:45）。新たに参加を希望される方も歓迎です。詳細は、教会事務室にお問い合わせください。

共同墓参は中止になりました

11月9日に企画していました府中・五日市墓地への共同墓参はお申し込みが少ないため、今年は中止といたします。来年度以降の共同墓参について、ご意見・ご要望などをお聞かせください。

七五三のお祝い：11月10日（日）9時ミサ

11月10日（日）9時のミサの中で、七五三のお祝いをいたします。お申し込みいただきましたお子様は、保護者の方とご一緒に前方の席にお座りください。

信徒親睦バザーのお知らせ：12月1日（日）

今年の信徒親睦バザーは、12月1日に開催します。手作りのクリスマスリースやオーナメントなどが多数出品される予定です。出店を希望される個人・グループは、参加申込書の注意事項をよくご確認の上、11月2日（土）から17日（日）までに教会事務室に書面でお申し込みください。尚、ミサ中の販売はできません。



バザーの準備と開催に伴い、バザー前日と当日は藤棚下駐輪場をお使いいただけません。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

バザー開催時間

12月1日（日）8:30～8:50、9:50～10:20、11:30～13:00

駐輪場所変更のお願い

藤棚下に駐輪できません。北広場の臨時スペースに駐輪してください。

2024年度大掃除：12月7日（土）10時～

12月7日（土）10時から聖堂、信徒会館および庭の大掃除を行います。雑巾および必要に応じてゴム手袋等をお持ちいただきますようお願いいたします。午後からは、クリスマスの飾り付けをいたします。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2025年洗礼希望者入門講座申し込みの最終締め切り

来年度の洗礼希望者のための入門講座が始まっています。2025年春に受洗を希望している方は、11月10日（日）までに教会事務室にお申し込みください。

次号の教会報

教会報12月号は、11月30日発行予定です。

帰天された方々

今月の予定

中止/変更の可能性があります。メール/ホームページをご確認ください

主日のミサ

土曜日 午後 5 時

日曜日 午前 9 時

午前 10 時 30 分 第 5 週は国際ミサ

午後 3 時～ 外国語ミサ (第 1 週：英語、第 2 週：ベトナム語、第 3 週：タガログ語)

*ゆるしの秘跡：主日ミサ開始 20 分前～ (小聖堂)

平日のミサ

火～金曜日 午前 6 時 45 分

第 1 金曜日 初金ミサ・聖体賛美式：午前 10 時 30 分

第 3 月曜日 聖霊に捧げるミサ：午前 6 時 45 分

吉祥寺教会勉強会のご案内

勉強会内容	日時	担当
聖書入門 1 共観福音書に親しむ	第 1 土曜日午後 2:00～3:00	フォン神父
英語で聖書を読み、黙想する (11 月 3 日再開)	第 1 日曜日午後 2:00～2:45	ボスコ神父
聖書入門 2 書簡と初代教会について学ぶ	第 2 土曜日午後 2:00～3:00	森神父
洗礼後のフォローアップ勉強会	第 3 土曜日午後 2:00～3:00	ビジュ神父
主日の福音の勉強と分かち合い	毎週土曜日午後 3:30～4:30	説教担当者
2025 年洗礼希望者入門講座	第 3 日曜日午前 10:00～11:30	司祭団

司祭団による病者訪問

第 2 第 3 第 4 金曜日

・ご病気、ご病気ではなくとも高齢者施設にお住まい等の事情でなかなか教会へいらっしゃれない方のところへ司祭団が訪問します。ご連絡は、ご家族のほか、施設の責任者の方からも受け付けます。

・ご希望の方に、赦しの秘跡、病者の塗油、聖体を授けます。

・ご病人やご家族のお話を伺い、共に祈りの時を過ごしご快復を願うもので、何度お呼びいただいても結構です。

・訪問に際し、献金のご心配は無用です。

・お問い合わせは、教会事務室へお願いします。

ご奉仕のお願い

第 2 日曜日：庭の整備と草むしり

第 4 日曜日：聖堂お掃除

事務室受付時間

火 水 金曜日 午前 9 時 30 分～午後 5 時

土曜日 午前 10 時～午後 5 時

日曜日 午前 8 時 30 分～午後 3 時 30 分

売店販売時間

土曜日 午後 1 時～午後 5 時

日曜日 午前 9 時～午後 3 時

カトリック吉祥寺教会 教会報

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山 1-7-8

TEL 0422-44-0181/FAX 0422-44-0180

URL <https://svdtokyo.jp/>

教会維持献金振替口座 郵便振替

口座番号 00120-1-106084 カトリック吉祥寺教会